

# 行政事業レビューの概要



# 文部科学省における行政事業レビューの推進体制

## 行政事業レビューとは

行政事業レビューとは、各府省自らが自律的に、外部性・公開性を確保しながら、原則全ての事業について、予算の支出先や用途等を記載したレビューシートを作成・公表しその実態を把握した上で、事業の内容や効果の点検を行い、その結果を予算の概算要求や執行に反映させる取組であり、予算のPDCAサイクルの具体化を図るもの。

【実施根拠: 行政事業レビューの実施等について(平成25年4月5日閣議決定)】

## 文部科学省における行政事業レビューの実施について

### 文部科学省行政事業レビュー推進チーム

#### 取組体制

統括責任者: 大臣官房長

統括責任者(代理): サイバーセキュリティ・政策評価審議官

副統括責任者: 会計課長、政策課長

メンバー:

人事課長、総務課長、国際課長、文教施設企画部施設企画課長、生涯学習政策局政策課長、初等中等教育局初等中等教育企画課長、高等教育局高等教育企画課長、科学技術・学術政策局政策課長、研究振興局振興企画課長、研究開発局開発企画課長、スポーツ庁政策課長、文化庁長官官房政策課長、国立教育政策研究所研究企画開発部長、科学技術・学術政策研究所総務研究官

全てのレビューシートを把握・点検し、結果を決定(HPに公表)

所見

所見

外部有識者会合

外部有識者による点検の実施

5年に一度を目処に  
全事業を点検

外部性の確保

公開プロセスの実施

一部事業を公開  
の場で議論・点検

公開性の確保

事業所管部局

レビューシートの作成、自己点検の実施

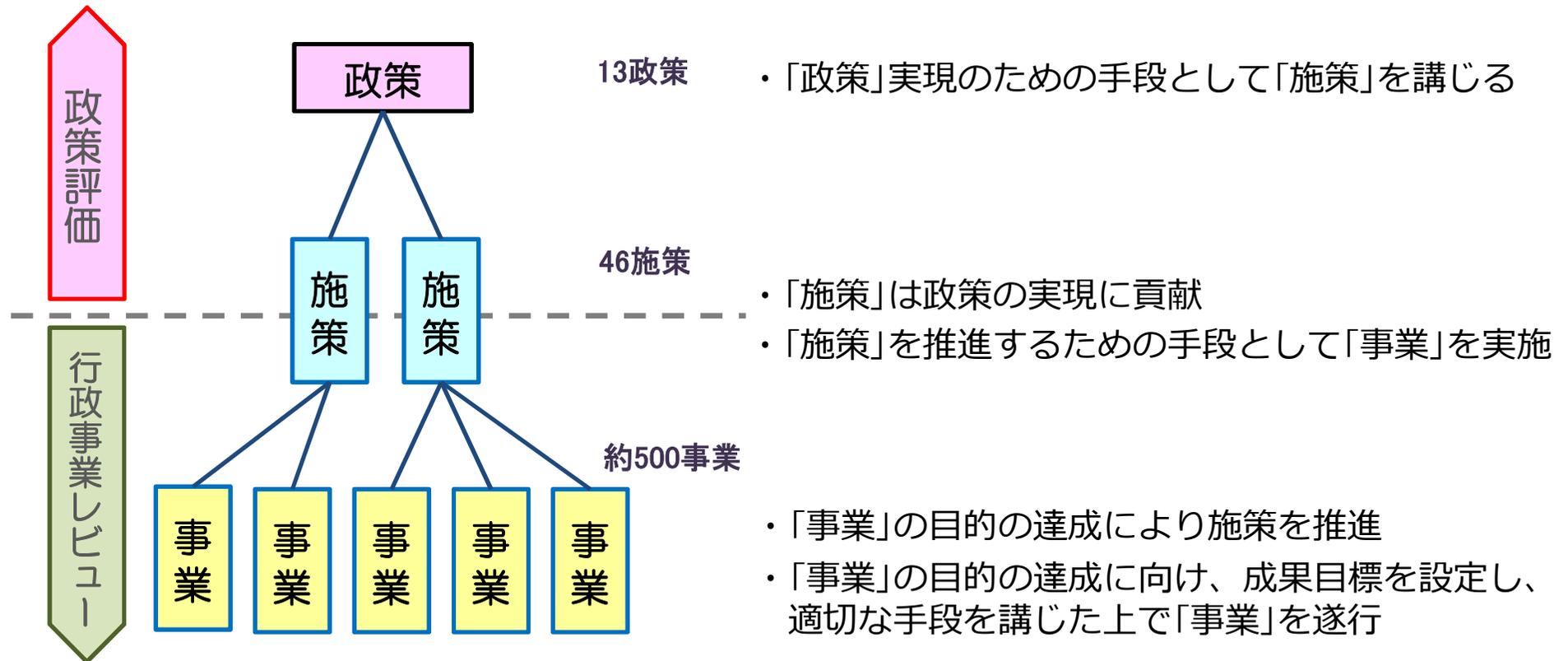
自己点検結果  
の報告

予算の概算要求  
や執行に反映

政策評価及び経済・財政一体改革との連携

- ・政策評価外部有識者の参画
- ・情報の相互活用、一覧性のある公表
- ・事業名と事業番号を共通化

# 政策評価と行政事業レビューの関係



**政策・施策・事業が「目的→手段」の関係でつながっていることが必要**